

発達障がいってどんな種類があるの？

発達障がいには、いくつかの種類があり、それぞれの症状や配慮のポイントに違いがあります。代表的なものをご紹介します。

ASD (自閉スペクトラム症)

人とのコミュニケーションがうまくできなかつたり、特定の物や場所に強いこだわりを示すなどの特徴があります。2～3歳ごろから特性が目立ち始めます。

例えば…

- ▶場の空気を読むのが苦手
- ▶人よりも、物や図鑑に関心が強い
- ▶大きな音、大勢の人がいるところ、気温の変化など、感覚が敏感

SLD (限局性学習症)

知的能力に遅れがないにも関わらず、読む、書く、計算する、推論するなどの特定の分野に困難さがみられます。就学後に特性が目立ち始めます。

例えば…

- ▶文字や行を飛ばして読んでしまう
- ▶数を数えることはできるが計算ができない
- ▶文字を書くときに枠からはみ出してしまう

ADHD (注意欠如・多動症)

注意力が散漫 (不注意)、落ち着きがなくじっとしてられない (多動性)、衝動的に行動を起こしてしまう (衝動性) などの特徴があります。幼稚園などで集団行動をする4～5歳ごろから特性が目立ち始めます。

例えば…

- ▶授業中など、座っていても手足をもじもじする
- ▶忘れ物やミスが多い
- ▶他の人の会話に割り込む
- ▶作業の段取りが苦手

- * 1つの特徴を持つ人ばかりでなく、重なり合った特徴を持つ人も多くいます。
- * この他、トゥレット症候群 (チック症) や吃音 (症) なども発達障がいに含まれます。



知っていますか？ 発達障がい

発達障がいは、生まれつきの「脳の機能が関係する障がい」といわれています。決して、親のしつけ方や、本人の努力不足、性格上の問題ではありません。周囲の理解を得て、適切な支援や環境の調整を行うことが大切です。

問い合わせ 福祉相談課 福岡 ☎ (23) 0083

発達障がいは、すぐに診断することは難しいとされています。それは、年齢や環境などのさまざまな要因により、一人一人の状態や目立つ症状が違ってくるからです。

大切なことは、その人がどんなことができるのか、何が苦手なのか、どんな魅力があるのかといった「その人に目を向けること」です。そして一人一人にあった支援があれば、誰もが自分らしく生きていけるのです。

私たちにできる支援

発達障がいの人は、抽象的なことへの理解が苦手です。具体的な表現で、本人にとって分かりやすい伝え方を心がけましょう。

また、厳しいしつけなどで特性を直そうとすると、ひきこもりや、家庭内暴力など二次的な表れにつながることもあります。「感情的になつて厳しく叱責しない」「他の子と比べない」などのことに気をつけて、

伝え方の例

- ▶言葉だけで伝えるよりも、写真や絵・文章など、見て分かる方法を合わせて伝えると分かりやすい。
- ▶あいまいな表現を避け、具体的な言葉で伝える。例えば、「ちょっと待ってね」ではなく、「5分待ってね」と伝える。
- ▶一度に複数のことを指示しないで、1つずつ順番に伝える。

今できていることを認めたり、褒めたりすることで、自己肯定感が得られます。

気になることがあるときは、一人で抱え込まずに、所属の園や学校、専門機関へ相談しましょう。

相談窓口はどんなところがあるの？

牧之原市福祉相談課

臨床心理士、保健師、社会福祉士などの専門職を配置し、発達障がいに関する相談にも応じています。お気軽にご相談ください。

対象者は0歳～18歳未満の子どもとその家族です。

牧之原市静波991番地1 さざんか2階
☎②0083 (午前8時15分～午後5時)
*土日祝日、年末年始を除く

静岡県中西部発達障害者支援センター COCO

発達障害者支援法に基づき、都道府県・指定都市に設置されています。発達障がいやその疑いがある人、そのご家族が豊かな地域生活を送ることができるよう、相談に応じ、支援を行う機関です。対象者の年齢は問いません。

島田市大川町10番1号 エフビル3階
☎0547⑨3600 (午前9時～午後5時)
*土日祝日、年末年始を除く

「子どもの成長に関するセミナー」を実施

市は令和6年12月21日、さざんかで「子どもの成長に関するセミナー」を開催しました。講師に山田辰美先生 (常葉大学名誉教授) を招き、「自然を使って感性豊かな子を育てる“自然遊びを体験しよう”」をテーマに、自然に触れ合うことで感性豊かな子どもに成長していくような遊びの体験や講義をしていただきました。

今後子どもの発達や成長に関するセミナーを実施していく予定ですので、多くの皆さまのご参加をお待ちしています。



4月2日から8日までは 発達障害啓発週間

毎年4月2日は、国連で定めた「世界自閉症啓発デー」です。これを踏まえ厚生労働省では、4月2日から8日までを「発達障害啓発週間」とし、さまざまな啓発活動を展開しています。

市でも、3月中旬から4月上旬に「図書交流館いこっと」や「健康福祉センターさざんか」にて自閉症や発達障がいについての展示パネルを設置し、啓発と理解促進を図ります。お立ち寄りの際はぜひご覧ください。